

2016年度事業計画

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding

日本の歴史や現状を学び、国際理解を深め、議論できる力を育む。沖縄フィールドワーク実施のための事前学習を行う。このほか海外でのスタディーツアーも検討したい。

対象：主に大学生、大学院生、青年

■沖縄フィールドワーク

世界の中、とくにアジアの中の日本を知るための体験型学習を実施する。4月下旬から5月上旬に沖縄、東京近郊(その他、海外プログラムも紹介)にて行う。

対象：大学生、大学院生、青年

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進するプログラム。友愛活動の一環でもあり、舎生が事前学習を経てプログラム作りを担当し、国際学舎に居住する留学生及び早稲田大学留学生等を対象に実践活動をおこなう。

スケジュール：5月茶道、6月歌舞伎鑑賞、7月七夕・書道、8月花火見物、10月 生け花、
11月紅葉狩り(高尾山)、1月餅つき(早稲田教会と合同)、2月豆まき、3月ひな祭り

対象：奉仕園寮の学生、早大留学生、日本語ボランティアの会参加者など

■アジアの文化を体験しよう

アジアの家庭料理教室の開催や映画上映会、都内・近郊で行われるエスニックイベントへの訪問等を通じてアジアを体験する。

期日：随時

対象：学生、社会人

■STUDY HALL!

単発の講演会、映画上映会、料理(レシピ)教室、ワークショップ、フィールドワークなどの単発イベントを束ねる枠組み。「STUDY HALL」は主にアメリカで使われる「自習室」の意。まなび舎の4つのカテゴリーに沿い、「おもしろい学び」の空間を目指す。ある程度集客を期待できそうな企画について時期を逃さずに実施、「おもちゃ箱」のように、雑多であることを特徴とするプログラム。

期間：年8回程度不定期に開催予定

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア講師として日本語を必要としている学習者にボランティアで日本語を教える。課外活動、学習者発表会、新年会、研修会など随時行う。会報も年2回発行。

開講日：水曜日：3クラス 金曜日1クラス

対象：ボランティアは奉仕園日本語教師養成講座修了者、学習者は日本語学習を必要としている外国人の方など

■早稲田ネットワーク外国人無料生活相談会(共催)

日本社会で暮らす在日外国人への無料相談窓口を開設することで、行政や教育的な制度活用を支援し、共に生きる社会を身近な形で実現していく。生活・労働・教育の分野で相談スキルを持つ個人が集まって、相談業務に当たる。大学生のボランティアを募り、NGO等の民間団体の役割の重要性を学び、使命感を持つ次世代の育成も視野に入れる。

日時：毎月第2日曜日

対象：運営は大学生・院生ボランティア、相談者は在日外国人

■震災被災者支援ボランティア活動

①福島原発事故により首都圏に自主避難されている家族を招待し、奉仕園留学生とともに国際交流を兼ねた富士登山(8月開催予定)を実施する。

協力：NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクト、YMCA同盟東山荘

②友愛学舎と信愛学舎の学生によるネパール震災支援活動へ協力

学生の企画への助成、会場提供などを実施

③災害発生時、受入先がある場合に学生・青年による初期の支援ボランティアを行う

■野宿者支援給食活動@渋谷(共催)

渋谷での野宿者支援給食活動に参加し、ボランティア活動を通して貧困や生存権の問題を身近に感じる。

期日：毎月第1、第3日曜日

対象：学生、社会人ボランティア

共催：日本福音ルーテル本郷教会／本郷学生センター、日本キリスト教団早稲田教会

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■What' s happening in the world

地球上で起きている諸問題を毎回1つ取り上げ、米国人ジャーナリストとともに考える。実践的な語学力とともにニュースを批判的に見る眼を養うことができるクラス。

期間：通年4月23日～2月25日 14回

対象：学生、社会人 18歳以上

講師：ジェンズ・ウィルキンソン

■アジア語

①通年クラス

ベンガル語、ヒンディー語、ミャンマー語の言語を学習する語学講座及び料理などの文化や地域社会を学ぶプログラムの開催を通して、人材育成及び文化理解の促進を図る。言葉の習得にとどまらずアジアの各地域の文化や習慣、社会を理解することをめざす講座。語学講座は言語にもよるが、入門クラスから中級・上級クラスまでレベルごとに幅広くクラスを展開する。その他関連するプログラムを単発のイベントとして開催する。

期日：前期・後期の2期制、週1回 各期14回

対象：学生、社会人

②はじめての韓国語通訳 2 日間レッスン

通訳の第一線で活躍する国際会議通訳者が講師を担当。韓国語通訳の学習法を紹介し、実際に体験することを通して、学習者の韓国語力アップならびに、弱点の克服を図る。韓国語ネイティブの講師による丁寧な指導を通して、日本語から韓国語への訳出にも挑戦し、韓国語らしい表現力を身につける実践的なトレーニングを行う。

講師：ペ・スンジュ(7月)、矢野百合子(3月)

期日：7月および3月の休日 2 日間予定

対象：学生、社会人 学習経験 3 年以上(ハングル検定 2 級程度の方)の方

■英語 ムリなく学べる基礎英語

しばらく英語から離れていた方も気軽に始められるゆっくりとしたペースの英語講座。基本文法と文型を学びつつ、身近な話題を取り上げ、日常会話や海外旅行にも役立つ表現を身につける。

期日：前期・後期の 2 期制、週 1 回、各期 14 回

対象：学生、社会人

■日本語ボランティア養成講座

外国人に日本語を教えるノウハウを学ぶ講座。初級Ⅰ、初級Ⅱ、中・上級を 1 年かけて学ぶ。初級Ⅰ終了後からボランティア活動が開始できるようになる。

期間：初級Ⅰ 4 月～全 16 回、初級Ⅱ 10 月～全 12 回、中・上級 2 月～全 4 回

講師：数土容子(武蔵大学教員)

対象：学生、社会人

■水彩画レッスン

日々の暮らしのなかで、旅先でスケッチを楽しむためのレッスン。屋内のほか、都内近郊の街や建物などをスケッチする。3 月はスケッチ合宿を予定。2 月にギャラリーにて修了作品展を開催。

期間：通年 全 10 回

講師：森本太郎(美術作家)、渡邊義孝(建築家)、河原美由紀(画家)、岸成行(建築家)、原游(現代美術)

対象：学生、社会人 18 歳以上

■北田英治の写真講座

くらしの中の身近なものや風景を撮りながら、写真を楽しむための講座。座学では受講生や講師の写真をみる講評会、フィールドワークでは都内近郊の街を歩いて撮影する。11 月は撮影合宿を予定。3 月にギャラリーにて修了作品展を開催。

期間：通年 全 10 回

講師：北田英治(写真家)

対象：学生、社会人 18 歳以上

■スコットホールでゴスペルを歌おう

スコットホールで思い切り声を出し、合唱を楽しんで元気になる！ストレッチ、ボイストレーニングをし、シーズンの課題曲(講師によるオリジナルアレンジ曲)を練習。4 月には Open Voice Day!、12 月にクリスマス発表会を開催するほか、奉仕園や地域のイベントへの出演も予定。

期間：シーズン 1(4 月～6 月)、シーズン 2(7 月～9 月)、シーズン 3(10 月～12 月)、シーズン 4(1 月～3 月) 各シーズン 7 回

講師：藤子(プロシンガー)

対象：学生、社会人

■連続講座 社会のセーフティネットを学ぶー在日外国人の状況とその支援

日本社会で暮らす在日外国人の状況や他国の支援制度と比較して日本の課題を学び、共に生きる社会の実現に寄与する。

期日：年 3 回開催予定

対象：学生、社会人

■連続講座 社会のセーフティネットを学ぶー格差社会と貧困

格差社会や若者の貧困が話題になる昨今において、生活保護など日本で整備されているセー

フティネットとはどのようなものか、その現状と課題を有識者、野宿者支援活動に関わる弁護士や司法書士、その他の相応しい専門家を講師に学習会を開く。

期日：年 3 回

対象：学生、社会人

■聖書講座—新しい聖書の学び(共催)

聖書のメッセージの今日的意味を学び、自らの人間形成に役立てる。山口里子氏著『いのちの糧の分かち合い～いま、教会の原点から学ぶ～』をテキストに、聖書や教会、既成の神学の枠組みに疑問を持ちながら、新しい聖書の学びを試みる。

期間：通年 月 1 回 全 9 回

講師：山口里子(日本フェミニスト神学宣教センター共同ディレクター)

対象：学生、社会人

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■キリスト教講座(共催)

教会の枠を超えて、日本社会や世界にかかわる若いキリスト者の働き人の現場から現在の教会の現状がどう見えるのか。ゲストスピーカーの報告を聞きつつ日本のキリスト教について考える。

期間：年 3～4 回開催

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

(4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

舎生数：2016 年度は 4 年生 4 名(男子 1 名・女子 3 名)、3 年生 3 名(男子 1 名・女子 2 名)2 年生 5 名(男子 1 名・女子 4 名)の在寮生に加え 新 1 年生 3 名を募集する。

活動：朝の会 学期期間中の月曜日から金曜日の 7 時から 7 時 30 分まで。聖書研究及び学生発表等を行う。

舎生会 毎月 1 回開催、友愛活動・生活について話し合う。

年間活動 4月の活動開始に向け、新入生を含めたオリエンテーションを1泊にて実施、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持つ。友愛旅行・卒舎式(3月)などの行事のほか、年中行事を楽しむ会などを担当し企画運営をする場の提供をする。また教会はじめ外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を増やしていくようにし、広い視野を持って社会に出て行かれるような学生生活となるようサポートする。また、友愛OB OG等による学生・青年向けの講演会などを検討したい。

■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮のネットワーク。年3回程度の会合をもちまわりで開き、寮運営、プログラム等について情報交換をおこなう。現在、友愛学舎、早大YMCA信愛学舎、山手学舎、山上学寮、東京ティラナスホール、登戸学寮、春風学寮、東大YMCA寮、一橋YMCA寮の9学寮が加盟しているがさらに参加を呼び掛ける。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮であり、7名が在寮。年2回ほど寮生同士の懇親を行い奉仕園のプログラムなどへの積極的な参加を促す。年1回、関東近郊で日帰り懇親旅行を行う。

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業 (国際友愛学舎)

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮 152室に140名(11月現在)が在寮。レジデントアシスタント(RA)がRAコミュニティールームに平日の19時00分~21時まで常駐。入寮時に提出される入居カードのデータベース化を推進する。留学センターとの情報共有に努め、留学生が安心して安全な寮生活を送れるよう、近隣にある交換留学生寮(早大寮・西早稲田寮)との連携を図る。

■留学生健康相談室の運営

必要に応じて個別面談を実施し健康状態の把握に努める。大学とも連携を取り、緊急時を含めて対応できるような体制をとっており、連絡体制などを随時確認していくようにする。

開室時間：毎週月曜日 13：00～15：30、毎週水曜日及び木曜日 13：30～17：30

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症(インフルエンザ等)についての情報提供、アンケートでの健康状態の把握など。

■FRIDAY・NIGHT

寮生間の親睦をはかるパーティー。入寮の時期となる4月及び9月に開催、9月は Japanese Night として友愛学舎がホストを務める。

■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、12月10日に開催する。交流パーティーのほか、グループや個人によるアトラクションを予定。他の早稲田大学交換留学生寮へも呼びかける。

■第13回長野市大岡研修旅行

長野市大岡を訪問し、小学校訪問、農作業体験、ホームステイなどを通じて日本の農村生活を体験する。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者20名

期間：5月下旬から6月上旬 2泊3日

協力：早稲田大学ICC、公益財団法人育てる会大岡ひじり学園、長野市教育委員会

内容：大岡中学校での交流会、農家へのホームステイ、郷土料理実習、農作業体験、陶芸実習、自然散策、歴史的建造物の見学、ほか

■第6回富士山登頂研修旅行

NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクトの協力を得て、原発事故による放射能汚染によって首都圏へ避難している家族を招き留学生と共に山頂をめざす。事前のオリエンテーションにおいて、富士山のこと、登山の知識等のレクチャーをおこなう。

人数：留学生10名及び被災家族8名計18名程度

期間：8月の2泊3日(1泊は山小屋)

協力：NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクト、日本YMCA同盟東山荘

■第11回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

早稲田大学留学生が静岡県御殿場市を訪問し、富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、環

境への理解を深める。友愛学舎・信愛学舎の日本人学生を中心として留学生との合同で実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場となるようにする。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者 20 名、日本人学生若干名

期間：2 月初旬の 2 泊 3 日

協力：早稲田大学 I C C、日本 Y M C A 同盟東山荘

内容：富士山麓の散策、富士山周辺の自然学習、郷土料理実習、箱根観光等

■ホームビジット

留学生に東京近郊の一般的な日本人の生活に触れてもらう機会を提供する。

協力依頼：奉仕園 O B O G、早稲田教会、東京平和教会、奉仕園日本語ボランティアの会、
稲門会など

実施期間：前期 6 月 6 日～7 月 3 日、後期 10 月 24 日～12 月 4 日

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

月極駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。

■施設管理受託事業

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■施設の貸与(会議室・ホール・ギャラリー)

施設の有効利用を心掛け利用拡大に努める。顧客の要望と施設の特性を鑑みながら備品・設備の改善を積極的に行う。

■早稲田スコットホールギャラリー

ギャラリーは 企画展を数回開催するとともに、施設の特性を生かした形でオープンスペー

スとしての利用を誘致する。

■プログラム(協賛を含む)の開催

年3~4回程度、趣旨に賛同する集会について、使用料の割引やチケット等の買い上げにより、集会や活動を協賛する。また、東京都文化財ウィークに合わせたスコットホール公開事業(11月頃)を行う。チャリティー古本市(5月、10月)を実施する。

3. 事業共通業務

■広告・宣伝

ホームページはパソコンとスマートフォン・タブレット端末での閲覧数が同数に近づきつつある傾向を受け、2016年度はそれぞれの機器で見やすく表示できるよう“レスポンス対応サイト”作成および切替えを開始する。また、引き続きフェイスブック、ツイッター、ブログ等多彩なメディアの活用を促進する。

■施設管理

おもな補修、施設更新、備品購入等は次のものを予定している。

	内容	事業区分	予定額
1	受電設備更新	全事業	350万
2	1号館(奉仕園会館)4階給湯設備更新	公益事業(学寮)	150万
3	3号館(国際友愛学舎)一部外壁補修	公益事業(学寮)	170万
4	リバティホールトイレ等改修	収益事業(セミナーハウス)	150万
5	月極駐車場舗装	収益事業(不動産賃貸)	550万
6	自動車買い替え	公益事業(活動)	125万

4. 法人総務

■賛助会員・寄付金募集

公益団体としての認知度を高め、より幅広く個人・諸団体からの支援を得ることを目的とし、賛助会員制度を設けている。本年度は個人・団体との更なる会員増を目指す。また、奉仕園通信発行に合わせて、学生活動のための寄付を募る。

■広報

奉仕園通信の発行は年2回を予定。

■財団会議

理事会：第1回定時理事会(6月)、第2回定時理事会(2017年3月)

評議員会：定時評議員会(6月)

常任理事会：数回開催

このほか必要に応じ、臨時理事会、評議員会、評議員・理事・監事懇談会を開催する。

■キリスト教施設長会議

施設長会議を2017年1月に開催予定(会場未定)。

■資金調達及び設備投資

(1) 資金調達の見込みについて

次の設備更新費用として、市中銀行(りそな銀行早稲田支店)より1000万円を調達

(2) 設備投資の見込みについて

- ① リバティールホールトイレ・水回り改修工事 150万円(収益2)
- ② 月極駐車場舗装改修工事 550万円(収益1)
- ③ 1号館(奉仕園会館)4階給湯設備更新工事 150万円(公益)
- ④ 受電設備更新工事 350万円(公益、収益1、収益2、管理共通)